

# 高齢者の生活実態と介護サービス等に関する意識調査

## ご協力のお願い

大阪府では、高齢者の皆さんが、日々の暮らしぶりや介護サービスの内容などに関して、どのように感じておられるかなどをお聞かせいただき、その結果を今後の保健福祉サービスや介護保険制度の運営に活かしたいと考えております。

つきましては、たいへんお手数をおかけしますが、同封のアンケートにご協力をお願いいたします。

皆さんへのアンケート調査票の発送につきましては、お住まいの市町村等のご協力を得て行っておりますが、お答えいただいた内容は、統計処理のみに利用し、秘密の保持には万全を期しておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、裏面に、調査票ご記入に際してのお願い、お問い合わせ先などを記載しておりますので、ご確認ください。

平成28年9月

大阪府

きにゅう さい ねが  
ご記入に際してのお願い

- きにゅうは、できる限り、ご本人が記入していただきますようお願いいたします。
- しんしん じょうたい などから、お読みになったり記入することが困難な場合は、ご家族や介護されている方などが読み上げていただき、ご本人の立場から記入いただくなど、ご協力をお願いいたします。
- きにゅう のち どうふう へんしんようふうとう い むきめい へいせい ねん  
9月30日(金)までにご返送いただきますよう、お願いいたします。  
きってふよう  
(切手不要)
- ふめい てんなど がございましたら、下記までお問い合わせください。

と あ さき  
《お問い合わせ先》

おおさかふふくしぶこうれいかいごしつかいごしえんか  
大阪府福祉部高齢介護室介護支援課

きかくちょうせい  
企画調整グループ

〒540-8570 おおさかしちゅうおうくおおてまえ ちょうめ  
大阪府中央区大手前2丁目

でんわ  
電話(06)6941-0351(内線4484)

(06)6944-2115(直通)

FAX(06)6941-0513

## 【ご自身のことについて】

**問1** この調査票はどなたが記入されますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 お送りした封筒のあて名ご本人が記入
- 2 本人の意思を確認してご家族の方などが代わりに記入
- 3 本人の意思を確認できないのでご家族の方などが代わりに記入

**問2** あなた（お送りした封筒のあて名の方のことをいいます。以下同じ。）の性別と年齢について、次のうち、それぞれ当てはまる項目に1つずつ○をつけてください。

- |      |   |        |   |        |   |        |
|------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 《性別》 | 1 | 男性     | 2 | 女性     |   |        |
| 《年齢》 | 1 | 65～69歳 | 2 | 70～74歳 | 3 | 75～79歳 |
|      | 4 | 80～84歳 | 5 | 85～89歳 | 6 | 90歳以上  |

**問3** あなたがお住まいの住宅や施設の種<sup>しゅうたく</sup>類<sup>しせつ しゅるい</sup>は、次<sup>つぎ</sup>のうちどれにあたりますか。当<sup>あ</sup>てはまる項<sup>こうもく</sup>目<sup>もく</sup> 1 つに○をつけてください。  
 (※親<sup>しんぞく</sup>族<sup>ぞく</sup>などが所<sup>しょ</sup>有<sup>ゆう</sup>されているお住<sup>す</sup>まいの場<sup>ばあい</sup>合<sup>ご</sup>も、持<sup>も</sup>ち家<sup>いえ</sup>としてください。)

- 1 持<sup>も</sup>ち家<sup>いえ</sup> (一<sup>いっ</sup>戸<sup>こ</sup>建<sup>た</sup>て)
- 2 持<sup>も</sup>ち家<sup>いえ</sup> (マンシ<sup>ながや</sup>ョン・長<sup>きやう</sup>屋<sup>どう</sup>建<sup>じゅう</sup>てな<sup>たく</sup>どの共<sup>きやう</sup>同<sup>どう</sup>住<sup>じゅう</sup>宅<sup>たく</sup>)
- 3 借<sup>しゃ</sup>家<sup>くや</sup> (一<sup>いっ</sup>戸<sup>こ</sup>建<sup>た</sup>て)
- 4 借<sup>しゃ</sup>家<sup>くや</sup> (民<sup>みん</sup>営<sup>えい</sup>の賃<sup>ちん</sup>貸<sup>たい</sup>マンシ<sup>きやう</sup>ョン、アパ<sup>きやう</sup>ートな<sup>どう</sup>どの共<sup>きやう</sup>同<sup>どう</sup>住<sup>じゅう</sup>宅<sup>たく</sup>)
- 5 借<sup>しゃ</sup>家<sup>くや</sup> (公<sup>こう</sup>団<sup>だん</sup>・公<sup>こう</sup>社<sup>しゃ</sup>・公<sup>こう</sup>営<sup>えい</sup>の賃<sup>ちん</sup>貸<sup>たい</sup>住<sup>じゅう</sup>宅<sup>たく</sup>)
- 6 有<sup>ゆう</sup>料<sup>りょう</sup>老<sup>ろう</sup>人<sup>じん</sup>ホ<sup>む</sup>ーム、サ<sup>つ</sup>ービ<sup>こう</sup>ス付<sup>れい</sup>き高<sup>む</sup>齢<sup>じゅう</sup>者<sup>たく</sup>向<sup>む</sup>け住<sup>じゅう</sup>宅<sup>たく</sup>
- 7 養<sup>よう</sup>護<sup>ご</sup>老<sup>ろう</sup>人<sup>じん</sup>ホ<sup>む</sup>ーム、軽<sup>けい</sup>費<sup>ひ</sup>老<sup>ろう</sup>人<sup>じん</sup>ホ<sup>む</sup>ーム、認<sup>にん</sup>知<sup>ち</sup>症<sup>しょう</sup>高<sup>こう</sup>齢<sup>れい</sup>者<sup>しや</sup>グ<sup>る</sup>ー<sup>う</sup>プ<sup>ほ</sup>ーム
- 8 特<sup>とく</sup>別<sup>べつ</sup>養<sup>よう</sup>護<sup>ご</sup>老<sup>ろう</sup>人<sup>じん</sup>ホ<sup>む</sup>ーム、介<sup>かい</sup>護<sup>ご</sup>老<sup>ろう</sup>人<sup>じん</sup>保<sup>ほ</sup>健<sup>けん</sup>施<sup>し</sup>設<sup>せつ</sup>、介<sup>かい</sup>護<sup>ご</sup>療<sup>りょう</sup>養<sup>よう</sup>型<sup>が</sup>医<sup>たい</sup>療<sup>りょう</sup>施<sup>し</sup>設<sup>せつ</sup>
- 9 そ<sup>た</sup>の他<sup>たい</sup> (具<sup>ぐ</sup>体<sup>たい</sup>的<sup>てき</sup>に： )

**問4** あなたの世<sup>せ</sup>帯<sup>たい</sup>構<sup>こう</sup>成<sup>せい</sup>についてうかがいます。当<sup>あ</sup>てはまる項<sup>こうもく</sup>目<sup>もく</sup> 1 つに○をつけてください。

- 1 一<sup>ひとり</sup>人<sup>りく</sup>暮<sup>く</sup>ら<sup>し</sup>し
  - 2 夫<sup>ふう</sup>婦<sup>ふう</sup>二<sup>ふたり</sup>人<sup>りく</sup>暮<sup>く</sup>ら<sup>し</sup> (配<sup>はい</sup>偶<sup>ぐう</sup>者<sup>しや</sup>が 65 歳<sup>さい</sup>以<sup>い</sup>上<sup>じょう</sup>)
  - 3 夫<sup>ふう</sup>婦<sup>ふう</sup>二<sup>ふたり</sup>人<sup>りく</sup>暮<sup>く</sup>ら<sup>し</sup> (配<sup>はい</sup>偶<sup>ぐう</sup>者<sup>しや</sup>が 65 歳<sup>さい</sup>未<sup>み</sup>満<sup>まん</sup>)
  - 4 子<sup>こ</sup>どもと同<sup>どう</sup>居<sup>きょ</sup> (世<sup>せ</sup>帯<sup>たい</sup>全<sup>ぜん</sup>員<sup>いん</sup>が 65 歳<sup>さい</sup>以<sup>い</sup>上<sup>じょう</sup>)
  - 5 子<sup>こ</sup>どもと同<sup>どう</sup>居<sup>きょ</sup> (4 以<sup>い</sup>外<sup>がい</sup>)
  - 6 親<sup>しん</sup>族<sup>ぞく</sup>又<sup>また</sup>は友<sup>ゆう</sup>人<sup>じん</sup>な<sup>どう</sup>ど同<sup>どう</sup>居<sup>きょ</sup> (世<sup>せ</sup>帯<sup>たい</sup>全<sup>ぜん</sup>員<sup>いん</sup>が 65 歳<sup>さい</sup>以<sup>い</sup>上<sup>じょう</sup>)
  - 7 親<sup>しん</sup>族<sup>ぞく</sup>又<sup>また</sup>は友<sup>ゆう</sup>人<sup>じん</sup>な<sup>どう</sup>ど同<sup>どう</sup>居<sup>きょ</sup> (6 以<sup>い</sup>外<sup>がい</sup>)
  - 8 施<sup>し</sup>設<sup>せつ</sup>に入<sup>にゅう</sup>所<sup>じょ</sup>
- 4～7に回答<sup>かいとう</sup>された方<sup>かた</sup>は同<sup>どう</sup>居<sup>きょ</sup>人<sup>にん</sup>数<sup>すう</sup>(あなたを<sup>を</sup>含<sup>ふく</sup>む)を<sup>を</sup>ご<sup>ご</sup>記<sup>き</sup>入<sup>にゅう</sup>く<sup>くだ</sup>さい。
- にん  
人

**問5** あなたがお住まいの市町村はどちらですか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

1	おおさかし 大阪市	2	とよなかし 豊中市	3	いけだし 池田市	4	すいたし 吹田市
5	みのおし 箕面市	6	たかつきし 高槻市	7	いばらきし 茨木市	8	せつつし 摂津市
9	もりぐちし 守口市	10	ひらかたし 枚方市	11	ねやがわし 寝屋川市	12	だいとうし 大東市
13	かどまし 門真市	14	しじょうなわてし 四條畷市	15	かたのし 交野市	16	やおし 八尾市
17	かしわらし 柏原市	18	ひがしおおさかし 東大阪市	19	とんだばやしし 富田林市	20	かわちながのし 河内長野市
21	まつばらし 松原市	22	はびきのし 羽曳野市	23	ふじいでらし 藤井寺市	24	おおさかさやまし 大阪狭山市
25	さかいし 堺市	26	きしわだし 岸和田市	27	いずみおつし 泉大津市	28	かいづかし 貝塚市
29	いずみさのし 泉佐野市	30	いすみし 和泉市	31	たかいしし 高石市	32	せんなんし 泉南市
33	はんなんし 阪南市	34	とよのちょう 豊能町	35	のせちょう 能勢町	36	しまとちょう 島本町
37	たいしちょう 太子町	38	かなんちょう 河南町	39	ちはやあかさかむら 千早赤阪村	40	ただおかちょう 忠岡町
41	くまとりちょう 熊取町	42	たじりちょう 田尻町	43	みさきちょう 岬町		

**問6** あなたは障がい者手帳等を所持しておられますか。

《有無》	1	しよじ 所持している	2	しよじ 所持していない	3	わからない
《種別》	1	しかく 視覚	2	ちようかく 聴覚	3	したい 肢体
	4	た その他				

**問7** あなたは、介護保険制度の要介護・要支援認定を受けていますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

ようしえん 要支援1	ようしえん 要支援2			
ようかいご 要介護1	ようかいご 要介護2	ようかいご 要介護3	ようかいご 要介護4	ようかいご 要介護5
ようかいご 要介護・要支援認定を受けていない。 (ひがいと う けっか ふく (非該当の結果を含む))				

かいごほけん りようじょうきょう  
【介護保険サービスの利用状況について】

とい  
**問8** かいご サービスをりようするさい際のあなたのかんがかたについて、つぎのうち、もっともあてはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 にんてい はんい ない かか 認定された範囲内に関わらず、できるだけおお かいご サービスをりようしたい
- 2 にんてい はんい ない おお 認定された範囲内で、できるだけ多くサービスをりようしたい
- 3 できることはじぶん やかぞく で おこな い とど できることは自分や家族で行い、行き届かない部分のみ必要なかいご サービスをりようしたい
- 4 できるだけかいご サービスはりようしたくない
- 5 その他（くたいてき具体的に： )

- ◆ とい とい ようかいご ようしえんにんてい う 問9から問14 までは要介護・要支援認定を受けている方に対する質問です。
- ◆ とい にんてい う かいとう かた とい すす 問7で「認定を受けていない」と回答された方は問15 にお進みください。

（ようかいご ようしえんにんてい う要介護・要支援認定を受けている方におたずねします。）

とい  
**問9** あなたが、ようかいご ようしえんにんてい う要介護・要支援認定を受けられたのはどのような理由からですか。  
つぎのうち、おも あ主に当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 ほうもんかいご ぎやたくかいご りよう 訪問介護などの居宅介護サービスを利用するため
- 2 とくべつようごろうじん ゆうりょうろうじん にゆうしょ 特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所するため
- 3 ふくしようぐたいよ こうにゆう じゅうたくかいしゅう りよう 福祉用具貸与・購入や住宅改修を利用するため
- 4 しょうらい そな にんてい う ほう おも 将来に備えて、とりあえず認定を受けておいた方がよいと思ったため
- 5 ちじん いりょうふくしかんけいしゃ しんせい すす 知人や医療福祉関係者から申請を勧められたため
- 6 その他（くたいてき具体的に： )

ようかいご ようしえんにんてい う かた  
(要介護・要支援認定を受けている方におたずねします。)

とい  
**問10** あなたは、現在、介護保険サービスを利用していますか。当てはまる項目1つ  
に○をつけてください。

- |   |         |        |              |
|---|---------|--------|--------------|
| 1 | 利用していない | —————> | 問11 にお答えください |
| 2 | 利用している  | —————> | 問12 にお進みください |

とい  
(問10で1と回答された方におたずねします。)

とい  
**問11** あなたが、介護保険サービスを利用していないのはどのような理由からですか。  
つぎ  
次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- |    |   |
|----|---|
| 1  | 当面は家族などによる介護で十分であるから                        |
| 2  | 介護サービス事業所の職員（ホームヘルパー等）など、他人を自宅に入れ<br>たくないから |
| 3  | 現在病院に入院中であるから                               |
| 4  | 利用料が高すぎるから                                  |
| 5  | 手続きが複雑で面倒そうだから                              |
| 6  | サービスの利用方法がわからないから                           |
| 7  | どのようなサービスがあるかがわからないから                       |
| 8  | 利用したいサービスがないから                              |
| 9  | 現在はサービス利用の必要がないから                           |
| 10 | その他（具体的に：<br>）                              |

—————> 問15 にお進みください

## 【サービス利用のきっかけ及び利用者の満足状況について】

(問10で2と回答された方におたずねします。)

**問12** あなたは、サービスを利用するに際して、事業者をどのような基準で選ばれましたか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 知人がサービス利用しているから
- 2 家族や知人に勧められたから
- 3 ケアマネジャーに紹介されたから
- 4 地域包括支援センターに紹介されたから
- 5 事業所が近くにあったから
- 6 事業者の説明を聞いて信頼できると思ったから
- 7 事業者にサービス利用を勧められたから
- 8 介護サービス情報の公表内容を見てよかったから
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(問10で2と回答された方におたずねします。)

**問13** あなたは、現在、利用しているサービスの内容に満足していますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- |             |             |               |
|-------------|-------------|---------------|
| 1 満足        | 2 どちらかという満足 | → 問15に        |
| 3 どちらでもない   |             | お進みください       |
| 4 どちらかという不満 | 5 不満        | → 問14にお答えください |



とい  
(問13で4又は5と回答された方におたずねします。)

とい  
問14 サービスのどのような点が不満ですか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 提供されるサービスの質、提供されるサービス内容に不満がある
- 2 もっとたくさん（長い時間・回数）のサービスがほしい
- 3 介護サービスの利用料が高い
- 4 支援してほしいことと、ケアプランで示されたサービスの内容があっていない
- 5 特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所したいのに、入所待ちがあり、入所できない
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 【負担と給付について】

- \* 大阪府内の75歳以上人口は、平成27年に107万人でしたが、平成37年には153万人に増えるとされています（国立社会保障・人口問題研究所推計）。これは、75歳以上高齢者が1.4倍に増加するというスピードです。
- \* 介護を必要とする人が急増する現状を踏まえ、今後、介護保険制度を持続可能な制度にするためにはどうすればいいのか、検討することが急務となっています。
- \* 介護保険料や利用料の減免制度など低所得者対策を検討しつつ、介護保険料とサービス給付のバランスをどう取るのか考えなければなりません。

**問15** あなたは、負担（介護保険料や利用料）と給付（介護サービス）についてどのように考えていますか。次のうち、もっとも当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 介護保険のサービスを維持できる制度にするためなら、介護保険料が上がってもいいと思う
- 2 介護保険のサービスを維持できる制度にするためなら、利用料が上がってもいいと思う
- 3 介護保険料や利用料が上がらないようにするため、サービスを利用する人を中度重度の介護度に制限すべきだと思う
- 4 40歳～64歳の2号被保険者の介護保険料を上げることによって、65歳以上の介護保険料が上がらないようにすべきだと思う
- 5 国や地方自治体などの公的負担をもっと増やし介護保険料や利用料が上がらないようにすべきだと思う
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

かいごよぼう  
【介護予防について】

とい  
問16 あなたは、病気の予防や健康づくりのために、どういったことを心がけていますか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 定期的に歩いたり運動したりするなど足腰をきたえている
- 2 バランスの良い食事をとっている
- 3 地域の行事や活動に積極的に参加している
- 4 仕事をしている
- 5 歯磨きなど口腔ケアに努めている
- 6 趣味を持っている
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 8 特にない（理由： \_\_\_\_\_）

かいごよぼう  
\* 介護予防について

かいごよぼう ようかいごじょうたい かがい らせ かいご ひつよう  
介護予防とは、要介護状態になることをできる限り防ぐことはもとより、介護が必要となつたとしても、生活機能の維持・向上を積極的に図り、重症化の予防・軽減により、  
こうれいしゃひとり い も し こじつげん めざ せいかつ いとな  
高齢者一人ひとりが生きがいを持ちながら、自己実現を自指した生活を営めるように、  
ちいき なか い やくわり も せいかつ いばしょ でばん  
「地域の中に生きがい・役割を持って生活できる居場所づくりと出番づくりにより」  
こうれいしゃ いよく ひ だ しゅたいてき と く もくてき  
高齢者の意欲を引き出し主体的に取り組むことを目的にしています。

とい  
問17 (要介護・要支援認定を受けていない方にお聞きします。)

ある 歩いていける 身近なところに健康体操や趣味の集い等があれば参加したいとおも  
おも 思いますか。次のうち、当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

- 1 参加したい (又は、現在参加している)
- 2 参加したいと思わない (又は、参加を断った、途中でやめたことがある)

↓  
1 と答えた方は、次のうち、当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

参加したい (又は、現在参加している) 内容

- (1) 体操・運動等の活動
- (2) 趣味の集い
- (3) ボランティア活動、地域活動
- (4) 食事会
- (5) その他 (具体的に： )

↓  
2 と答えた方は、次のうち、当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

参加しない理由

- (1) 必要がないから
- (2) 忙しいから
- (3) 知らない人ばかりいそうだから
- (4) 興味が持てないから
- (5) 継続的に通うことが大変だから
- (6) 自分自身で健康づくり、介護予防に取り組んでいるから
- (7) その他 (具体的に： )

とい  
問18

あなたの健康づくり・介護予防に対する考え方として、次のうち当てはまる項目

1つに○を付けてください。

(現在、要支援・要介護の認定を受けている方もお答えください。)

- 1 介護サービス等を十分に活用した上で、活動的、健康的な生活をできるだけ続けていきたい
- 2 介護サービスなどの支援にあまり頼りすぎると、身体をあまり自分で動かさなくなるので、自分でできることは自分で行い、体操などを生活に取り入れるなどしたい
- 3 介護サービスなどを受けるような心身の状況でないが、できるだけ長く健康を保持し、介護サービスを受けないですむように過ごしたい
- 4 特になにも考えていない
- 5 その他(具体的に： )

\*介護予防事業、介護予防給付について

介護予防事業の参加や、介護予防サービスによって、以下の効果があります。

- ①要介護状態になること(悪化)の防止。
- ②心身の状態の維持、改善(できなかったことができるようになる)。

問19 平成27年度（※）に施行された改正介護保険法で、これまで全国一律の基準で実施されていた介護予防サービスのうち、軽度（要支援1、2）の方へのホームヘルプ（介護予防訪問介護）やデイサービス（介護予防通所介護）は、市町村が定める基準に応じた多様な主体によるサービス提供が可能となりました。

具体的には、地域で支え合い活動をしているNPO団体やボランティア、介護保険サービス事業者以外の民間企業等によって、地域の事情に沿った柔軟なサービス提供が行われるなど、サービスの幅が広がることや利用者負担等もより低額になることが期待されています。

これらのサービス提供について、どのように思いますか。次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。また、選択された理由についても記入してください。

- 1 掃除、調理など簡単な生活支援サービスや地域での通いの場について、NPO団体やボランティア、民間企業等によるサービスを利用したい（又は、利用してもかまわない）。
- 2 NPO団体やボランティア、民間企業等によるサービスは利用したくない。
- 3 わからない

↓ 1と答えた方は、次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

利用したい理由

- (1) NPO団体やボランティア、民間企業等によるサービスの方が安心だから。
- (2) 選択できるサービスの幅の広がりや、地域の実情に応じたきめ細かなサービス提供が期待されるから。
- (3) 利用者負担が低額になることが期待できるから。
- (4) 地域の高齢者等がサービスの担い手側に回ることによって、地域活動の活性化や、高齢者の生きがいがいづくり、介護予防の効果が期待できるから。
- (5) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）



2と答えた方は、次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

利用したくない理由

- (1) 介護保険サービス事業者が行うサービスの方が、安心だから。
- (2) 市町村によって提供されるサービス内容等にバラツキが出るから。
- (3) 地域の高齢者等がサービスの担い手側に回ることを期待されるのは煩わしいと感じるから。
- (4) 地域の高齢者等ではなく、介護保険サービス事業者によるサービスの方が気兼ねなく利用できるから。
- (5) その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

※市町村によって開始時期は異なります。

平成27年度：箕面市、平成28年度：茨木市・大東市、羽曳野市（10月から開始）、平成29年度：全市町村

※お身体の状態により、これまでどおり介護保険サービス事業者による専門的なサービスも提供可能です。（地域包括支援センター等がケアマネジメントを行います。）

ちいきほうかつしえん  
【地域包括支援センターについて】

とい  
問20 あなたは、「<sup>ちいきほうかつしえん</sup>地域包括支援センター」を<sup>し</sup>知っていますか。つぎのうち、<sup>あ</sup>当てはま  
<sup>こうもく</sup>る項目1つに○をつけてください。

- 1 <sup>し</sup>知っている
- 2 <sup>き</sup>聞いたことはあるが、<sup>なに</sup>何をしているところかは<sup>し</sup>知らない
- 3 まったく<sup>し</sup>知らない

\*<sup>ちいきほうかつしえん</sup>地域包括支援センターについて

<sup>しちやうそん</sup>市町村（<sup>いたく</sup>委託を受けた<sup>ほうじん</sup>法人を含む）が<sup>うんえい</sup>運営するもので、<sup>かき</sup>下記の<sup>ぎょうむ</sup>業務を行う<sup>おこな</sup>地域の<sup>ちいき</sup>中核的な<sup>きかん</sup>機関です。

\*<sup>こうれいしゅ</sup>高齢者の<sup>けんこう</sup>健康・<sup>ふくし</sup>福祉・<sup>いりょう</sup>医療に関する<sup>かん</sup>様々な<sup>さまざま</sup>相談の<sup>そうだん</sup>受付、<sup>うけつけ</sup>関係<sup>かんけい</sup>機関への<sup>ひきつぎ</sup>引継ぎ

\*<sup>こうれいしゅぎゃくたい</sup>高齢者虐待への<sup>たいおう</sup>対応などの<sup>こうれいしゅ</sup>高齢者の<sup>けんり</sup>権利を守る<sup>まも</sup>取組み<sup>とりく</sup>

\*<sup>かいごよぼう</sup>介護予防<sup>きくせい</sup>ケアプランの<sup>かいごよぼう</sup>作成（<sup>かいごよぼう</sup>介護予防<sup>ケア</sup>マネジメント）

\*<sup>ちいき</sup>地域の<sup>ネットワ－ク</sup>ネットワークづくり

\*<sup>ちいき</sup>地域の<sup>ケア</sup>ケアマネジャーの<sup>しえん</sup>支援 など



とい  
問21

あなたは、介護の必要な高齢者が地域で暮らしやすくするためのネットワーク（地域包括ケアシステム）を作るために、何が大切だと思いますか。特に大切だと思ふ項目3つに○をつけてください。

- 1 診療所（歯科を含む）・薬局・介護事業所など専門機関が連携して、介護・医療・生活支援サービスなどを一体的に提供する仕組みを作ること
- 2 専門機関と民生委員、自治会役員、老人クラブ、ボランティアなどの民間機関が一緒に高齢者を支援する人の輪を作ること
- 3 地域活動の必要性を多くの高齢者に知ってもらうこと
- 4 近所の高齢者が気軽にふれあえる居場所を地域に作ること
- 5 定期的に一人暮らしの高齢者などの安否確認をする取組みを行うこと
- 6 日常生活で困ったことを気軽に相談や依頼ができる窓口を作ること
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

こうれいしゃぎやくたい ほうし  
【高齢者虐待の防止について】

とい  
問22 つぎ 次のうち、あなたが高齢者虐待に当てはまると思う項目すべてに○をつけて  
ください。

- 1 高齢者が話しかけてくるのを家族が無視する
- 2 高齢者の年金や預金を本人の意思に反して家族が使う
- 3 必要な食事、排せつなどの世話・介護をしない
- 4 排せつの失敗をした時、家族が罰として裸にして放置する
- 5 日常生活に必要な金銭を家族が高齢者に渡さない
- 6 上記1～5に当てはまる項目はない
- 7 わからない

とい  
問23

あなたは、高齢者虐待の防止のために必要な取組みはどのようなことだと思  
いますか。次のうち、重要と思う項目3つに○をつけてください。

- 1 虐待防止のための住民への啓発活動
- 2 身近な地域での相談窓口の設置
- 3 虐待発見者に対する通報の義務化
- 4 虐待を受けた高齢者の保護の取組み
- 5 家族などの養護者に対する支援
- 6 地域での見守り体制づくり
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

\* 高齢者虐待の防止について

高齢者虐待の対応は市町村が行うこととなっており、虐待を受けたと思われる高齢者を発見した場合は、市町村に通報することとなっています。

高齢者虐待は、介護疲れや認知症に対する理解不足、経済的事情など、いくつかの要因が重なって起こる場合が多く、高齢者虐待防止法では、家族などの養護者への支援も行うこととなっています。

にんちしょう  
【認知症について】

とい  
問24 あなたは、認知症、あるいは認知症の人に対してどのようなお考えをおもち  
ですか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 認知症になっても、その人の意思はできる限り尊重されるべきだ
- 2 自分が認知症になったら、居宅介護サービスを受けながら、自宅での生活を続けたい
- 3 自分が認知症になったら、近所の人にはあまり知られたくない
- 4 自分が認知症になったら、病院や施設に入所させてほしい
- 5 身近に認知症の人がいたら、お世話をしあげたい
- 6 認知症の人に、どのように接したらよいかかわからない
- 7 認知症の人とは、今関わりがないし関わりたくない
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

とい  
問25 あなたは、認知症の人が安心して暮らせるまちにするには、どのような対策が必要だと思いませんか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 認知症に関する正しい知識や理解を広めること
- 2 認知症の相談窓口を充実させること
- 3 認知症の人に対する介護や医療の質を向上させること
- 4 認知症の人をお世話している家族を支援すること
- 5 認知症の診療を行っている医療機関を周知すること
- 6 認知症の人を支える施設や組織を周知すること
- 7 近隣の見守りなど認知症の人を支える街づくりを進めること
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
- 9 わからない

とい  
問26 あなたは、<sup>せいねんこうけんせいど</sup>成年後見制度について知っていますか。<sup>つぎ</sup>次のうち、<sup>あ</sup>当てはまる項目<sup>こうもく</sup>

1つに○をつけてください。

- 1 <sup>し</sup>知っている
- 2 <sup>き</sup>聞いたことはあるが、<sup>ないよう</sup>内容までは<sup>し</sup>知らない
- 3 <sup>し</sup>知らない

<sup>せいねんこうけんせいど</sup>  
\* 成年後見制度について

<sup>にんちしょうこうれいしゃ</sup> 認知症高齢者など <sup>ほんだんのうりよく</sup> 判断能力が <sup>じゅうぶん</sup> 十分でない人々が、<sup>ひとびと</sup> 日常生活において <sup>にちじょうせいかつ</sup> 不利益を受け <sup>ふりえき</sup> 受けることのないよう、<sup>ほんにん</sup> 本人の <sup>けんり</sup> 権利を <sup>まも</sup> 守り <sup>えんじょ</sup> 援助する <sup>せいど</sup> 制度です。

にちじょうせいかつ じょうきょう  
【日常生活の状況について】

とい  
問27 あなたは、日々ひび充実感じゅうじつかんをもって生活せいかつをおくっていますか。次つぎのうち、当あては  
まる項目こうもく1つに○をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| 1 たいへん <small>じゅうじつかん</small> 充実感がある     | 2 どちらかという <small>じゅうじつかん</small> と充実感がある |
| 3 どちらかという <small>じゅうじつかん</small> と充実感がない | 4 まったく <small>じゅうじつかん</small> 充実感がない     |

とい  
問28 あなたが、現在げんざい、生きがいいを感じていることはどのようなことですか。次つぎのう  
ち、当あてはまる項目こうもくすべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 仕事 <small>しごと</small>   |   |
| 2 趣味 <small>しゅみ</small> の活動 <small>かつどう</small>   |   |
| 3 学習 <small>がくしゅう</small> や教養 <small>きょうよう</small> を高めるための活動 <small>たか</small>                  |   |
| 4 社会奉仕 <small>しゃかいほうし</small> ・ボランティア活動 <small>かつどう</small>                                     |   |
| 5 スポーツ活動 <small>かつどう</small> 、健康 <small>けんこう</small> づくり  |   |
| 6 友人 <small>ゆうじん</small> ・知人 <small>ちじん</small> との交流 <small>こうりゅう</small>                       |   |
| 7 孫 <small>まご</small> や子ども <small>こ</small> 、若者 <small>わかもの</small> などとの交流 <small>こうりゅう</small> |   |
| 8 その他 <small>た</small> （具体的 <small>くたいてき</small> に：   | ） |
| 9 特 <small>とく</small> にない   |   |

とい  
問29 あなたは、日々の暮らし向きについてどのように感じていますか。次のうち、  
あ 当てはまる項目 1 つに○をつけてください。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 たいへんゆとりがある | 2 ややゆとりがある |
| 3 ふつうである     | 4 ややくるしい   |
| 5 たいへんくるしい   |            |

とい  
問30 あなたは、現在、日常生活でどのような不安や悩みを抱えていますか。次のうち、  
あ 当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- |                        |   |
|------------------------|---|
| 1 人間関係（家族、隣近所、友人など）のこと |   |
| 2 話し相手がないこと            |   |
| 3 自分の健康状態や病気のこと        |   |
| 4 自分の介護のこと             |   |
| 5 身近な家族の健康状態や病気のこと     |   |
| 6 身近な家族の介護のこと          |   |
| 7 通知やお知らせ、情報がわからないこと   |   |
| 8 生活費や財産のこと            |   |
| 9 家事のこと                |   |
| 10 その他（具体的に：           | ） |
| 11 特にない                |   |

とい  
**問31** あなたが、現在、日常生活で困難を感じていることはありますか。当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 食事の準備
- 2 買い物
- 3 掃除・洗濯
- 4 家具などの重いものの移動
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 6 特に困難は感じない

とい  
**問32** あなたは、病院や診療所などの医療機関にどの程度かかっていますか。  
次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 ほぼ毎日、どこかに通院している
- 2 3日に1回ぐらいは通院している
- 3 週に1回ぐらいは通院している
- 4 月に1～3回ぐらいは通院している
- 5 半年に1回ぐらいは通院している
- 6 ほとんど、通院していない
- 7 訪問診療を受けている

※訪問診療について

継続して医療にかかる必要があるが、疾病、傷病等のため通院が出来ない人に対し、医師が計画的に訪問して提供する医療行為をいいます。急変時等に患者の要請により診療に来てもらう「往診」と合わせて、「在宅医療」といいます。



とい  
問33 あなたは、人生の最期をどう過ごしたいですか。次のうち、最も近い項目

1つに○をつけてください。

- 1 住み慣れた自宅で療養したい
- 2 高齢者住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等）で最期を迎えたい
- 3 介護保険施設（特別養護老人ホーム等）で最期を迎えたい
- 4 なるべく早く医療機関に入院したい
- 5 わからない

とい  
問34 あなたは自宅で療養しながら、最期まで過ごすことができると思いますか。

次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 できると思う
- 2 難しいと思う
- 3 わからない



2と答えた方は、次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

実現が難しいと思う理由

- (1) 介護してくれる家族に負担がかかる
- (2) 家族の理解が得られない
- (3) 住まいの環境が整っていない
- (4) 症状が急に悪くなったときに不安がある
- (5) 経済的に負担が大きい
- (6) 訪問診療をする医師が見つからない
- (7) 訪問看護をする看護師が見つからない
- (8) 居宅介護サービスが十分でない
- (9) その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

とい  
問35 あなたはボランティア活動かつどうに参加さんかしたいと思おもいますか。当あてはまる項目こうもく 1つに

○をつけてください。

- 1 現在げんざい参加さんかしている
- 2 参加さんかしたい
- 3 参加さんかしたいと思おもわない（又または、参加さんかできない）



3と答こたえた方かたは、次つぎのうち、当あてはまる項目こうもく 1つに○をつけてください。

参加さんかしない理由りゆう

- (1) 仕事しごとをしたい
- (2) 体調たいちようや事情じじようがあり難むずかしい
- (3) 興味きょうみが持もてない
- (4) 適てきしたものが見みつからない
- (5) その他た（具く体的たいに：）

ちいき あんぜん あんしん  
【地域における安全・安心について】

とい  
問36 ちいき こうれいしゃ たが ささ あ めざ なに  
地域で高齢者が互いに支え合うことを目指すとすれば、あなたは、何ができま  
すか。

つぎ  
次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 ほか こうれいしゃ はな あいて  
他の高齢者の話し相手
- 2 ほか こうれいしゃ にちようひん か もの だ てつだ  
他の高齢者の日用品の買い物やゴミ出しの手伝い
- 3 ほか こうれいしゃ がいしゅつじ つ そ  
他の高齢者の外出時の付き添い
- 4 ひとりぐ こうれいしゃ こえ あんびかくにん  
一人暮らしの高齢者などへの声かけ（安否確認）
- 5 きんじょ こま こうれいしゃ ぐたいてき かだい そうだんきかん し  
近所で困っている高齢者の具体的な課題を相談機関に知らせる
- 6 ろうじん ちいき つど ちいきかつどう せっきよくてき さんか  
老人クラブや地域の集いなどの地域活動に積極的に参加する
- 7 くるま そうげい こうれいしゃ いどうしえん  
車での送迎など高齢者の移動支援
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 9 とく  
特にない

とい  
問37 あなたがお住まいの地域で、安心して暮らすことができると感じますか。次の  
うち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 あんしん ぐ  
安心して暮らすことができる
- 2 どちらかというにあんしん ぐ  
どちらかという安心して暮らすことができる
- 3 どちらかというにあんしん ぐ  
どちらかという安心して暮らすことができない
- 4 まったくあんしん ぐ  
まったく安心して暮らすことができない

とい  
問38 にちじょうてき れんらくがとれ、こま 困ったことやふあん 不安なことをそうだん 相談できるあいて 相手はどのよう  
な人ですか。ひと つぎ 次のうち、あ 当てはまるこうもく 項目すべてに○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 かぞく しんるい<br>家族・親類                           | 2 となりきんじょ ひと<br>隣近所の人                         |
| 3 ちじん ゆうじん<br>知人・友人                           | 4 かかりつけのいし し か ふく<br>かかりつけの医師（歯科を含む）          |
| 5 かかりつけの やっきやく<br>薬局                          | 6 みんせいいいん<br>民生委員                             |
| 7 ケアマネジャー                                     | 8 しちょうそん しょくいん<br>市町村の職員                      |
| 9 ちいきほうかつしえん しょくいん<br>地域包括支援センターの職員           | 10 しちょうそんしゃかいふくしきょうぎかい しょくいん<br>市町村社会福祉協議会の職員 |
| 11 りんほかん ろうじんふくし そうだんいん<br>隣保館や老人福祉センターなどの相談員 |   |
| 12 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）                       |   |
| 13 サービスじぎょうしょ しょくいん<br>事業所の職員（ヘルパー等）          |   |
| 14 かいごそうだんいん<br>介護相談員                         |   |
| 15 その他（た 具体的に：<br>具体的に：）                      |   |
| 16 とく<br>特にいない                                |   |

\*コミュニティソーシャルワーカー（CSW）について

ひとりぐ こうれいしゃ しょう しゃ ふくしてき しえん よう かたがた そうだん おう ひつよう  
一人暮らし高齢者、障がい者など福祉的な支援を要する方々からの相談に心じ、必要な  
サービスやきかん へつなぎ、かいけつ はか とりく おこな ふくし せんもんしよく  
サービスや機関へつなぎ、解決を図る取組みを行う福祉の専門職のことで。

\*介護相談員について

かいご サービスの ていきょう ば たす りようしゃ はなし うかが そうだん おう とう かつどう  
介護サービスの提供の場を訪ね、サービス利用者の話を伺い、相談に心じる等の活動  
を行う人。利用者のおこな ひと りようしゃ きもん ふまん ふあん かいしょう はか かいご サービスの しつてき  
の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、介護サービスの質的な  
こうじょう はか  
向上を図る。

とい  
問39

地震や台風などの自然災害があったとき、避難所などへどう逃げるか、考え

ていますか。次のうち、当てはまる項目すべてに○をつけてください。

- 1 自分で逃げることができる
- 2 家族・親類が助けに来てくれると思う
- 3 普段からつきあいのある隣近所の人、自治会、町内会の人が助けてくれると思う
- 4 市町村役場と相談して「避難行動要支援者支援計画（登録制度）」で助けてくれるよう登録している
- 5 施設の職員が助けてくれる
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 7 考えたことがない

※ 避難行動要支援者支援計画（登録制度）について

市町村が、災害があった時に援護を要する高齢者や障がい者などを登録し、避難所への誘導や安否確認などを円滑に行えるよう一人ひとりにあわせて作った計画、またはその制度のことをいいます。

## 【希望する暮らし方について】

**問40** あなたは、今後、自分で身の回りのことができなくなった場合に、どのような暮らしをおくりたいですか。（現在、できない方も）次のうち、当てはまる項目1つに○をつけてください。

- 1 自宅に住み続けながら、介護サービスを受けずに、家族などの介護を受けたい
- 2 自宅に住み続けながら、居宅介護サービスを受けたい
- 3 地域に住み続けながら、「グループホーム」などの地域に密着したサービスを受けたい
- 4 「有料老人ホーム」や「サービス付き高齢者向け住宅」などの高齢者向け住宅に入居したい
- 5 介護保険施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## 【施設などに入所するにあたって重視する点】

とい  
**問41** あなたは、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・有料老人ホームなどの施設等に入所する場合、どのような事項を重視されますか。次のうち、**大切だ**と思う項目**3つ以内**に○をつけてください。

- 1 利用料金（当初の保証金なども含む）
- 2 提供される介護（医療）サービスの内容や質
- 3 居室の広さ・設備の内容や質（バリアフリーなど）
- 4 自宅や親族の住居などと近いこと
- 5 耐震性など防災面の安全性
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

【今後、重要になるとと思われる施策について】

問42 あなたは、高齢者が個性と主体性を発揮し、生き生きと暮らし続けることのできる社会を築いていくためには、どのような施策が重要とご思いますか。次のうち、より大切だと思う項目3つに○をつけてください。

- 1 居宅介護サービスの充実
- 2 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の充実
- 3 病院や診療所の充実
- 4 生活支援サービスの充実（配食、見守りなど）
- 5 身近な地域社会の中で、高齢者の生活を支える体制づくり
- 6 健康づくり、介護予防事業の充実
- 7 徘徊への対応など認知症対策の充実
- 8 日常的に利用できる相談窓口の充実
- 9 学習・文化・スポーツ活動への支援
- 10 見守り付き高齢者住宅の建設や住み替え支援などの充実
- 11 高齢者の働く場の確保や職業紹介の充実
- 12 高齢者の生きがい、居場所づくりの支援
- 13 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか、もう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れて、9月30日（金）までにご返送ください。



